

ふるさと歴史散歩

〔第147回〕 幻の庭園・龍仙寺の栢原山池 その三

阪井虎山も、栢原山池に来遊し「栢原山池六勝」の景色を優れた詩賦に読んだ学者・文人である。虎山は、名は公実、臥虎山人とも号し、下級武士の身分で、儒者の家以外からその学識でもって藩儒に抜擢された学者である阪井東派の長子である。幼少のころから勉学に励み、13歳の時、藩学で試みに公子御臨席のもと講義させたところ素晴らしい弁論でみんなを驚かしたという逸話がある。長じて父と同じ藩学教授になった。かつて山陽が帰省して虎山と文を論じた時、山陽は虎山を「文中の傑（傑出した人物）」と高く評価した。

天下の文人山陽が虎山の才能を文句なしと讃るほど大変立派な人物であった。そして、山陽亡き後は「関西の文柄独り虎山に帰せり」（関西一の文才）と詩文の第一人者となつた。広島市東区二葉の里の

饒津神社境内に門弟たちが建立した顕彰碑があり、虎山の偉大なる業績を知ることができる。

虎山も龍仙寺の庭園に来遊し、五言律詩「遊栢原山途上吟（はくげんさんにあそぶとじようぎんず）」と「席上得麻（せきじようまをえたり）」の二首を詠んでいる。

いずれも格調高い漢詩で、前者は、道中のぬかるみや埃を浴びても栢原山池へ行つて遊んだ方が好い、と雨に煙る楊柳や杏の花咲く春の情景を詠んでいる。後者は、ゆく春を惜しむかの雨の中を来遊し、園内で僧にあつても一言も挨拶せずに白桜花は咲いているかどうかを尋ねただけだという世俗を忘れた風流人のなせる伎が詠まれている。この詩の題「席上麻を得たり」から、即興で詩賦を作る会に出席したところ、「麻」の韻を踏んだ詩の題をくじで引き

当てたというもので、文人どうし格調の高い優雅な遊びをしていたようである。

栢原山池は、菅原守「藝州府中莊誌」に「芸藩主も数度の来駕ありて、詩ありしと聞けど今伝わらず」とあり、藩主の来駕を仰ぐくらい見応えのある見事な庭園であつた。

栢原山池の名庭園は今日失われて、その片鱗さえ見られないが、かつてこの庭園を舞台に天下の文人・学者が集い格調高い詩賦を残した事実だけでも、大変意義があり素晴らしい事でもある。



山口素絢の庭園図（龍仙寺「開基五百年史」より）

府中町文化財保護審議会会長

横田 禎昭



正しいごみ出しにご協力を

府中町環境センター（八幡四丁目1-1） ☎286-3266



特別収集日

午前8時30分までに
ごみステーションへ出してください。

3/21(月) 振替休日	○普通ごみ【月・木曜日収集地区】
	○有価物【月曜日収集地区】
	○大型ごみ【鹿籠二丁目・桃山一丁目】

*環境センターへのごみの持ち込みは受け付けていません。

正しく分別して再商品化・再資源化にご協力を

- 下着類、靴下、糸玉、軍手、ふきん⇒普通ごみ
- 布団、座布団、シーツ、マットレス、毛布、まくら・クッション、ぬいぐるみ（30cm以下は普通ごみ）、カーテン⇒大型ごみ



ごみの不法投棄は、犯罪です！
不法投棄を目撃した人は、警察に通報してください。

ごみはルールを守って出してください

- ダンボールには、発泡スチロールを混ぜない。
- 電気毛布、電気カーペットは、他の大型ごみの中に混ぜない。

「平成28年度家庭ごみの正しい出し方」の配布

地区別収集日、祝日の収集日、ごみの出し方などを掲載し、3月中旬に各家庭に配布します。ごみ出し日をよく確認し、決められた日にごみステーションに出してください。（平成28年度版は緑色です）

◆「平成27年度家庭ごみの正しい出し方」の記載誤り◆

5ページ「祝日等の収集品目一覧表」に誤りがありました。お詫びして訂正します。

平成28年3月21日(月)の特別収集

- 【鹿籠一丁目】（誤）大型ごみ収集あり→（正）収集なし
- 【鹿籠二丁目】（誤）収集なし→（正）大型ごみ収集あり



ごみを出す時間にご注意を！
前夜や早朝に出すとカラスが荒らすことがあります。